



私のいちおし本 「本屋さんのダイアナ」

著者 柚木 麻子 著

選者：村治 七海



これは、ダイアナと彩子の2人の物語です。2人は何もかもが対照的ですが、唯一の共通点は、本が好きなこと。小学生の時に会ってから、2人はすぐに仲良くなります。いつも一緒にいました。しかし、あるすれ違いから仲違いしてしまいます。そのまま、2人は全く違う道を歩むこととなりますが、大人になってから再会します。再会した2人が気づかされたこと、それは、

“ずっと隣にあって、孤独で、必要で、唯一である。”

2人にとっての本は、どんな時もそんな存在でした。まるで、彩子にとってダイアナが、ダイアナにとって彩子がそうであったように。

2人の視点から描かれる物語は、どっちの立場にもなったような感覚になり、大変面白い作品です。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

{一般}

きっと明日はいい日になる

田口 久人 著

何が起きても、笑った分だけ幸せがある。泣いた分だけこれからがある。読むだけで前向きになる182の言葉を紹介。著者がInstagramで発信してきたものをまとめる。



{児童}

こねこがにゃあ

ひろの たかこ 作

「にゃあお」と、お母さんねこが呼びました。すると、かごの中や袋の中、くしゃくしゃなタオルの中から、かわいいこねこたちが次々に「にゃあ」と顔を出して…。さて、こねこは何匹いるでしょう？かわいいこねこの絵本です。



その他の新刊

{一般}雲を紡ぐ

吹有 喜 著

今日もお疲れさま

群 ようこ 著

{児童}おろしてください

有栖川 有栖 作

しゅうくんかぞくのしあわせれしぴーちらしずし

はまのゆか 作

【文化センター図書室】

{一般}

わたしの美しい庭

凧良 ゆう 著

統理と百音、路有が住んでいるマンションの屋上には小さな神社がある。断ち物の神さまが祀られていて、悪いご縁を断ち切ってくれるといい…。縁切り神社を訪れる〈生きづらさ〉を抱えた人たちと、「わたし」の物語。



{児童}

たかのびょういんのでんちゃん

菅野 博子 文・絵

高野 己保 原案

おおきな地震、津波、突然の停電。ちいさなヒーローが病院をすくった！福島第一原発から22キロの病院で、残された患者や病院スタッフとともにたたかった、古い発電機のお話。



その他の新刊

{一般}ライオンのおやつ

小川 糸 著

騒がしい楽園

中山 七里 著

{児童}このあとどうしちゃうお

ヨシタケ シンスケ/著

おれ、よびだしになる

中川 ひろたか 文 石川 えりこ 絵